

言葉の魔法

ちょっとした一言が人を変える力を持つことがある。
迷ったときの道標になる言葉、
ふと思い出して元気になれる言葉……。
確かな成果を残したビジネスパーソンたちに、
そんな言葉の魔法を聞いてみよう。

“ 良い「運勢」は勢いがあるところに運ばれてくる ”

僕が代表を務める「おもしろ旅企画 ヒラタ屋」というのは、日本旅行の新規事業なんです。個人的にやっていた“爆笑旅行企画”が社長の目にとまり、2009年10月に組織として発足しました。そんな話がもちあがり絶好調だった頃、「情報ライブミヤネ屋」の司会者であり、大親友でもある宮根誠司さんが教えてくれたんです。良い「運勢」は勢いがあるところに運ばれてくる、と。

お客さまの笑顔を増やしたくて、個人で“爆笑旅行企画”を始めたのは、15年前。航空会社や鉄道会社がネットを利用した直販に乗り出し、旅行業界のなかで価格競争が激化し始めた頃です。窓口でただ待っていて、手数料をいただくだけの旅行会社では、旅行は売れないやろうと。お客さまへの無限のサービスを提供する、プライスレスな商品を提案する。日本旅行の創業者が実践したことこそ我々の使命やって、気がついたんです。僕ができる無限のサービスといえば、人を笑わせること。思えば、採用された際、人事部長に「あなたは笑いで日本旅行に貢献してくれ」と言われていました。

以来、添乗した旅行すべてで、移動中のバスではガイドさんのマイクを奪い取り、往復4時間休みなしのトーク。宴会場では女装、ものまねありのワンマンショー。捨て身になって、馬鹿になって、笑わせています。

自分がポジティブでないと、人を笑わせたり喜ばせることはできません。だから、いつでも元気に前向きに仕事をしていました。すると業績も上向いた。その結果、「ヒラタ屋」を新規事業として立ち上げることができたんです。宮根さんの言う通り、自分に勢いがあったから、みんなに運んでもらえたんやと。本当に、「運勢」という字のごとしです。

観光という字も、光を観ると書くんですね。これからも常にポジティブでいることで良い運を呼び、自らが光を放って、お客さまの旅を照らしたいと思っています。



年間7億9800万円を売り上げる
ナニワのカリスマ添乗員

平田進也氏

日本旅行 おもしろ旅企画 ヒラタ屋 代表

Hirata Shinya_1980年京都外国語大学卒業後、日本旅行に入社。大学在学中から、恋愛バラエティ番組「ラブアタック！」で毎回ふられる「みじめアタッカー」として関西地区では有名で、入社後は名物添乗員として活躍。豊富な経験と巧みな話術、変身芸を活かした「平田進也と行くツアー」は発売後すぐに売り切れるほど人気がある。会社公認のファンクラブ「進子ちゃん倶楽部」の会員数は2万2000人を超えた。著書に「7億稼ぐ企画力」(小学館)などがある。